

京都府認知症応援大使

すずき
鈴木

きみえ
貴美江さん



次に続く人へのメッセージ

姑と主人の介護を娘と乗り越えて、看取ってから引きこもりがちになりました。

認知症になっても一歩外に出ると、新たな出会いや良いことが沢山ありました。

受け入れて今、出来ることを楽しむとまた勇気が出てきます。誰かのお役に立つ事が私の元気の源になっています。周りのみなさんに支えて頂き今とても幸せです、感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございます。

私の日々の暮らし・楽しんでいること



今の目標は自転車に乗ること！
と思ったら、練習初日に乗れて
しまって、本人もびっくり(笑)



「にこにこ・オレンジカフェ・いわくら」やワークショップの
集まりでは、コーヒーを注いだり、カップを洗ったりなどの
水回りを担当。「声をかけてもらって、うれしい」

いつも通るスイーツのお店の
店先には葡萄棚が。
気に入って、撮って欲しいと
パチリ。お気に入りの一枚♪



いつもアシストしてくれる
長女の祐三子さんと一緒に

京都府認知症応援大使

「認知症でも やったるで…！」

認知症になった者から伝えないと、変わっていかない。認知症の方には偏見や誤った理解があり、一人の人間として、正しい理解を広めるよう導いていきたい。



しもさか あつし
下坂 厚さん

認知症になったから終わりではないこと、できることはいくらでもあることを知ってほしい。



あだち はるお
安達 春雄さん



いのうえ かずゆき
井上 和享さん

認知症であることを公表することで、認知症になった人に前向きなメッセージを伝えたい。



(氏名非公表)

認知症になった方のために勇気をふりしぼった。認知症で困っている人と接点をもちたい。

京都府認知症応援大使の活動



京都府知事から任命されました

意気込み・メッセージ

認知症になったらもう終わり、ではなく、認知症になった方の声をひろいあげ、いきいきと活動されている方々を応援したい！

若年性認知症本人交流会おれんじサロンひと・まちでの活動

本人ミーティングで、いろんなテーマで話し合い…



「認知症になる前によく出かけていた神社めぐりを、また始めたい」「諦めずに、出かけよう！」



「診断直後の当事者に仲間がいることを伝えるにはどうしたらいいかな」「こちらから出会いに行ける場があればいいな」



「最近、おれんじサロンに来られてないな…」「みんなで会いに行こう！」